

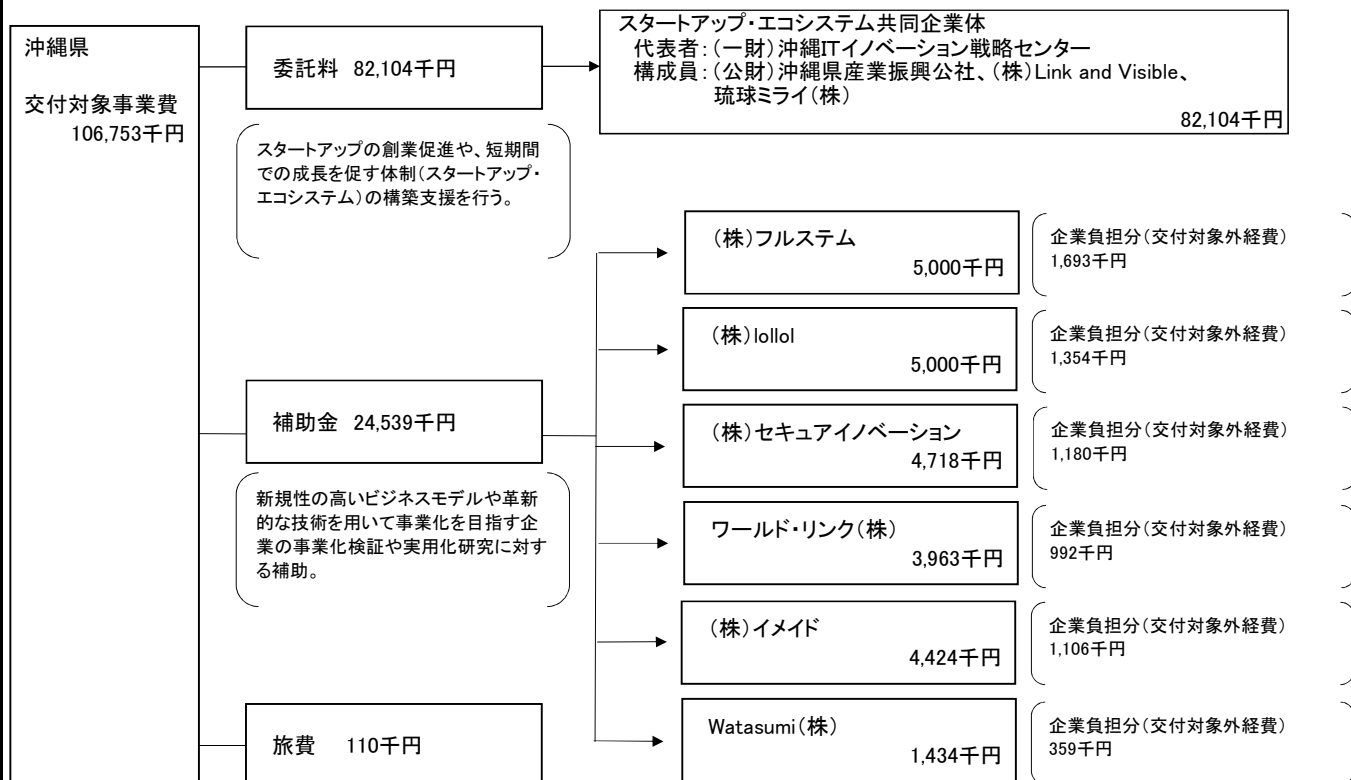
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	87	スタートアップ・エコシステム構築支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(6)-ア-①			
				起業家の育成			
担当部署名	商工労働部産業政策課	事業実施 (予定)年度	H26 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(4)		
事業内容	スタートアップエコシステムの形成に向けて、スタートアップ集積拠点の形成や優良なスタートアップ企業の育成支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】	予算の 状況		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度
		(a)当初予算額	134,800	0	107,253	0	127,741
		(b)予算現額	134,800	0	107,253	0	113,975
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 13,766
		(d)前年度繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		134,800	0	107,253	0	113,975
	B. 執行済額		128,960	0	106,516	0	106,753
	うち交付金充当額		103,168	0	85,212	0	85,402
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.7%	#DIV/0!	99.3%	#DIV/0!	93.7%
予算の状況の説明		<p>・令和4年度予算は、スタートアップ・エコシステムの構築支援に係る委託業務及びスタートアップの事業検証等に係る補助事業に要する経費を計上したところである。令和3年度に比べ20,488千円増額となっているのは、エコシステム構築に係る産学官金連携の支援組織構築等の業務を追加したことによるものである。</p> <p>・補助事業の採択件数(6社)が当初見込み(8社)を下回ったこと、また、採択企業についても補助対象経費を精査するなどした結果、交付決定額が補助上限額未満となった企業があったことなどに伴い、減額補正を行った。</p> <p>・執行率は93.7%であり、主に委託業務に執行算が発生したことによるものである。</p>					
活動目標 (指 標) 及び 進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ビジネスコンテスト等の開催	目標	—	—	—	3回	
		実績	—	—	—	16回	
	誘致したエンジェル投資家によるメンタリング数	目標	—	—	—	3件	
		実績	—	—	—	97件	
	広報活動(SNS)	目標	—	—	—	70回以上	
		実績	—	—	—	185回	
	研究開発補助件数 (継続・新規の合計)	目標	16件	10件	5件	—	
		実績	17件	11件	6件	—	
アントレプレナーシップ醸成とコミュニティ形成を促進するためのイベント実施	目標	—	—	1回	—		
	実績	—	—	14回	—		
ビジネスリアルプログラムの実施	目標	—	—	実施	—		
	実績	—	—	実施	—		
進捗状況説明	<p>・ビジネスコンテスト等の開催は、事業の効率的な執行により、目標値を大きく上回る活動を実施した(達成)。</p> <p>・誘致したエンジェル投資家によるメンタリング数は、エンジェル投資家の招聘の際に、積極的にスタートアップとマッチングを実施したことから、目標値を大きく上回る活動を実施した(達成)。</p> <p>・広報活動(SNS)は、事業の効率的な執行により、目標値を大きく上回る活動を実施した(達成)。</p>						
成果目標 (指 標) 及び 達成状況	R4成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)
	①エンジェル投資家の招聘人数	目標	—	—	—	3人	—
		実績	—	—	—	17人	—
	②スタートアップの創出数:5件	目標	—	—	—	5件	—
		実績	—	—	—	4件	—
	事業計画検証ステージ	目標	—	5件	—	—	—
		実績	—	5件	—	—	—
	研究開発実証ステージ	目標	—	5件	5件	—	—
		実績	—	6件	6件	—	—
	令和2年度に補助期間が満了した案件の事業化件数	目標	—	—	1件	—	—
実績		—	—	3件	—	—	
起業・創業に関心を持った参加者の割合	目標	—	—	80%以上	—	—	
	実績	—	—	100%	—	—	
達成状況説明	<p>①受託事業者が有するネットワークを活用した誘致により、エンジェル投資家の招聘人数は17人となり、目標を達成した。</p> <p>②ビジネスコンテスト等の開催や民間企業や大学等との連携による起業関心層の掘り起こしなどを行ったが、スタートアップの創出数は、目標達成に至らなかった(達成率80%)。</p>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証 ①スタートアップ・エコシステムの構築にあたっては、エンジェル投資家だけではなく、ベンチャーキャピタルや大企業、大学の研究機関、公的機関などがネットワークを作り、それぞれの機関の連携による支援が重要となる。 ②スタートアップの創出数を増加させるためには、さらなる起業関心層の掘り起こしが重要となる。また、国においては、「スタートアップ育成5か年計画」を令和4年11月に策定、スタートアップの創出数の増加と着実な成長に向けて取り組むこととされた。	①令和4年12月に設立した「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」において、エコシステムを成熟させるための課題の可視化や解決に向けた取組が求められている。 ②スタートアップの創出数増加に向け、民間企業や大学等との連携を強化し、起業家の誘致も含めた起業関心層の掘り起こしを行う必要がある。また、スタートアップの着実な成長に向けたきめ細かな支援を行う必要がある。
今後の取り組み方針	
①おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの加盟組織と連携し、沖縄県内のエコシステムの目指すグランドデザインとロードマップを作成する。 ②スタートアップの創出数増加や規模の拡大に向けては、コンソーシアムの活動を活性化させることで、産学官金が一体となった取組の強化を図る。また、県内スタートアップに対し、県外スタートアップイベントへの参加支援やベンチャーキャピタルなどの支援者とのマッチングを実施する。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額	県負担金	市町村負担金	その他	
113,438	106,753	85,402	21,351	0	0	6,685



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により公募し、選定委員会で決定しており、選定方法は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助事業者は各分野の専門家で構成する審査委員会で、ビジネスモデルの優位性等を審査し選定しており、選定方法は妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である支援企業は総事業費の20%以上を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、完了検査により、適正であることを確認した。

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	125	経済金融活性化促進事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(6)-ア-④		
担当部署名	商工労働部ITイノベーション推進課		事業実施(予定)年度	H24 ~ R6 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	金融関連産業の集積促進 III-1-(5)
事業内容	①人材確保支援 (1)特区内企業の見学ツアー (2)特区内企業とのマッチングイベントの実施 ②人材育成支援 (1)特区内企業集合型研修の実施						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】			R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度
	予算の状況	(a)当初予算額	12,412		9,973		11,470
		(b)予算現額	12,412		9,973		11,470
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	12,412	0	9,973	0	11,470
	B. 執行済額	9,726		8,203		10,812	
	うち交付金充当額	7,773		6,563		8,650	
	C. 次年度繰越額	0		0	0	0	
執行率(%) (B/A)	78.4%	#DIV/0!	82.3%	#DIV/0!	94.3%		
予算の状況の説明	執行率は99%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①人材確保支援 (1)特区内企業の見学ツアー(3回)	目標	2回	3回	3回	3回	
		実績	2回	3回	3回	4回	
	①人材確保支援 (2)特区内企業とのマッチングイベントの実施(3回)	目標	4回	3回	3回	3回	
		実績	5回	3回	4回	3回	
②人材育成支援 (1)特区内企業集合型研修の実施(初任者5回、中核人材5回)	目標	-	-	-	初任者5回、中核人材5回		
	実績	-	-	-	初任者5回、中核人材6回		
進捗状況説明	①(1)見学ツアーは目標3回のところ4回実施し、目標値を上回った。(参加者数 延べ61名) (2)マッチングイベントは目標3回のところ3回実施し、目標を達成した。(参加者数 延べ33名) ②(1)集合型研修は初任者5回、中核人材5回を目標として、実施は初任者5回、中核人材6回と目標を上回った。(参加者数 初任者向け延べ87名 中核人材向け延べ52名)						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R13年度)
	特区内への新規金融企業立地数:2社	目標	-	-	-	2社	累計20社
		実績	-	-	-	0社	-
	達成状況説明	特区内への新規金融企業立地数は0社であり、成果目標は未達成となっている。達成できなかった主な理由は、経済金融活性化特別地区制度や支援メニューについて県外企業に対する周知の不足のほか、金融業の顧客となる産業の集積が十分でないためであると考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップへの参加を利用した就職活動など、学生の就職活動が早期化してきており、変化に合わせた事業実施が求められる。 ・地理的ハンディによりツアーやマッチングイベントの参加者が集まりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学ツアーやマッチングイベントの開催時期を早め、早期化に対応する。 ・マッチングイベントに関しては北部だけではなく中南部でも開催し、より多くの学生が参加できるようにする。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・見学ツアーやマッチングイベントといった学生を対象とした事業の開催時期を検討する。 ・県内出身者が多い県外大学との交流促進方法を検討する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
10,812	10,812	8,650	2,162	0	0	0

沖縄県
交付対象
事業費
10,812千円

委託料
10,812千円

経済金融活性化促進事業コンソーシアム
10,812千円

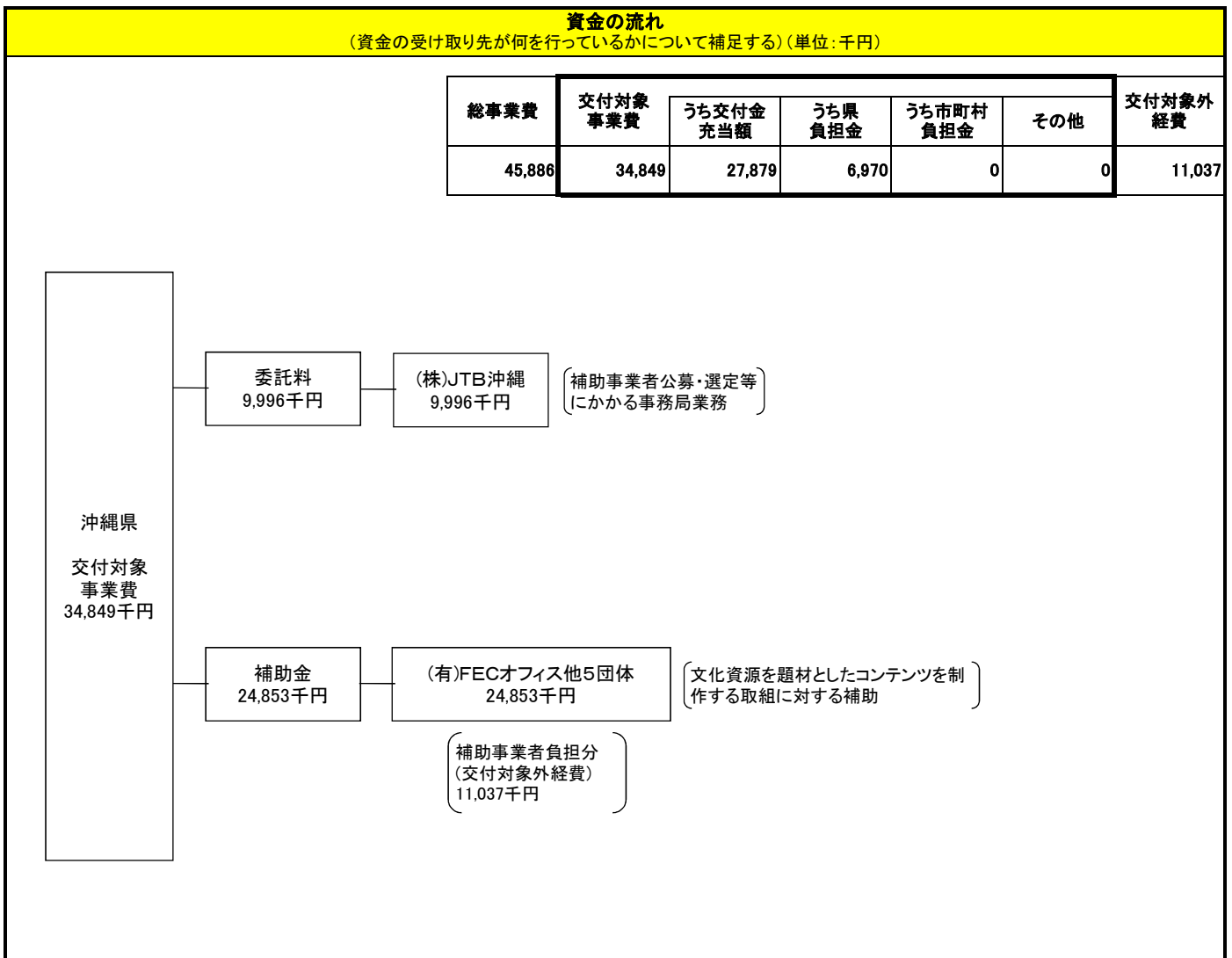
代表者：特定非営利活動法人NDA
構成員：株式会社スプリングナレッジラボ

資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は、事業内容を考慮し企画提案プロポーザルによって選定したため、妥当であったと考える。 ○費目・用途については、事業報告書等を検査し、適正である事を確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	158 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(6)-イ-①			
担当部署名	文化観光スポーツ部文化振興課	事業実施(予定)年度	R4 ~ R8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化芸術に関する産業の創出・振興 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	県内の文化芸術団体等が琉球の歴史文化に由来する文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組について支援(補助)を行う。また、琉球の歴史文化を活用した文化産業に関する講演会、支援事業の報告会など、文化の産業化に向けた取組をPRする講演会等を開催する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					40,000
		(b)予算現額					37,000
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 3,000
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	37,000
	B. 執行済額						34,849
		うち交付金充当額					27,879
C. 次年度繰越額				0	0	0	
執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.2%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 県内の文化芸術団体等が琉球の歴史文化に由来する文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組について支援(補助)を行うため、令和4年度から新規事業として、補助事業者公募広報、申請書作成支援、受付等に要する委託料及び文化団体等への補助金を計上した。 補助団体が確定し、補助金に不用が見込まれたことから、他事業(沖縄観光グローバル事業)への流用を行った。 執行率は94.2%であり、補助金の執行残が発生したことによるものである。 						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	支援件数 6件	目標				6件	
		実績				6件	
進捗状況説明	琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組について、事業実施者への新規支援(補助)を6件実施し、目標値を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R6年度)
	支援した事業の継続件数 6件	目標				6件	
		実績				6件	
	【R6成果目標】支援した取組の商品化等件数6件	目標					6件
	達成状況説明	<p>成果目標である支援した事業の継続件数については、実績が6件で目標を達成した。</p> <p>効果発現年度は、支援を行った県内文化芸術団体等の取り組みについて、2年間継続(R4-R5)して取組を行うものとし、取組終了の翌年度(R6)から効果発現(商品化等)するものとして見込んでいる。</p>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証 ・令和4年度からの新規事業として実施したところ、25件の応募があり6件を採択した。歴史文化のコンテンツ化に向けた取組への県内各団体の意欲が高いことがわかった。 ・令和4年度は、事業開始年度ということもあり、補助事業者の事業開始が9月になったことから、補助事業者の早期事業開始の点において改善が必要である。	・補助事業者の早期事業開始に向けた改善として、補助事業者の公募等を委託する事務局の選定・委託契約を年度当初に締結し、補助金交付決定の時期を早めることにより、補助事業者に負担をかけない環境づくりを行う。
今後の取り組み方針	
・補助事業者の公募等を委託する事務局との契約を4月中旬までに締結し、補助事業者の公募を5月中旬頃に行う。	



資金の流し、費用	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費用	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業社は、企画提案プロポーザルにより企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○補助事業者は、県内外の有識者で構成された有識者委員会の審査により選定しており、妥当であったと考えている。 ○受益者は総事業費の25%を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合を勘案し妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	